

横浜市環境管理計画 2023年度の推進状況

横浜市環境管理計画について

- ・ 横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例に基づく本市の環境分野の総合計画
- ・ 3つの基本政策、7つの基本施策を、市の総合計画である横浜市中期計画、分野別の個別計画と連動させ、総合的に取組を推進

<環境管理計画の体系>

総合的な視点による基本政策
Policies from Cross-
Sectoral Perspectives

多様化・複雑化する環境問題に対応するため、環境の視点だけでなく、様々な分野と連携して総合的・横断的に取り組みます

環境と
人・地域社会
Environment and
Citizens/Local
Communities



環境と
経済
Environment and
the Economy



環境と
まちづくり
Environment and
Town Development



環境側面からの基本施策 Policies from an Environmental Aspect

個々の環境課題に着実に対応する7つの基本施策を掲げています。環境行政の基軸である「地球温暖化対策」と「生物多様性」は重点施策として取り組みます。

地球温暖化対策
Global Warming Countermeasures



生物多様性
Biodiversity



水とみどり
Water and Greenery Management

都市農業
Urban Agriculture

資源循環
Resource Circulation

生活環境
Living Environment

環境教育・学習
Environmental Education/Learning

横浜市環境管理計画について

- ・ 計画の推進状況は、環境創造審議会にご報告し、ご意見を計画推進に活かすとともに、年次報告書として、毎年度とりまとめて公表

<年次報告書について>

位置付け

条例に基づき、横浜の環境の状況、環境管理計画に基づき実施された施策の状況等についてとりまとめ、公表

まとめ方

市民・事業者に、分かりやすく環境の取り組みを伝える

【本 編】横浜の環境の取組、環境の状況をデータを多用し総合的に記述

【概要版】より平易に、手にとってもらえるデザイン・内容

【資料編】計画に係る経年データをオープンデータとして公開

配布方法

【本 編】市ウェブページ、市民情報室、各市立図書館、各区広報相談係で閲覧

【概要版】本編と同じ場所で配布、視察・研修などで配布

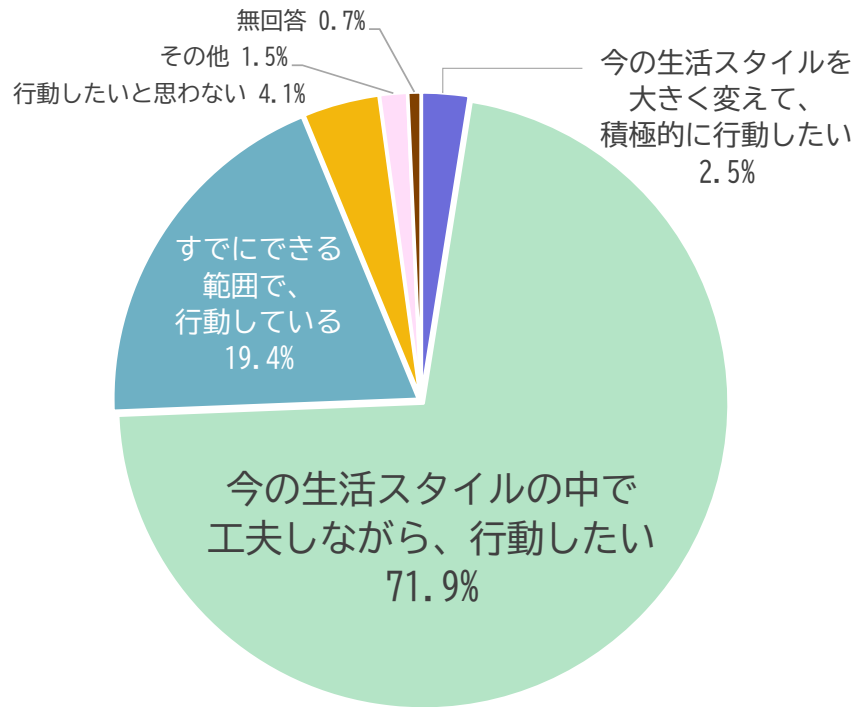
【資料編】市ウェブページでの閲覧・提供

計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

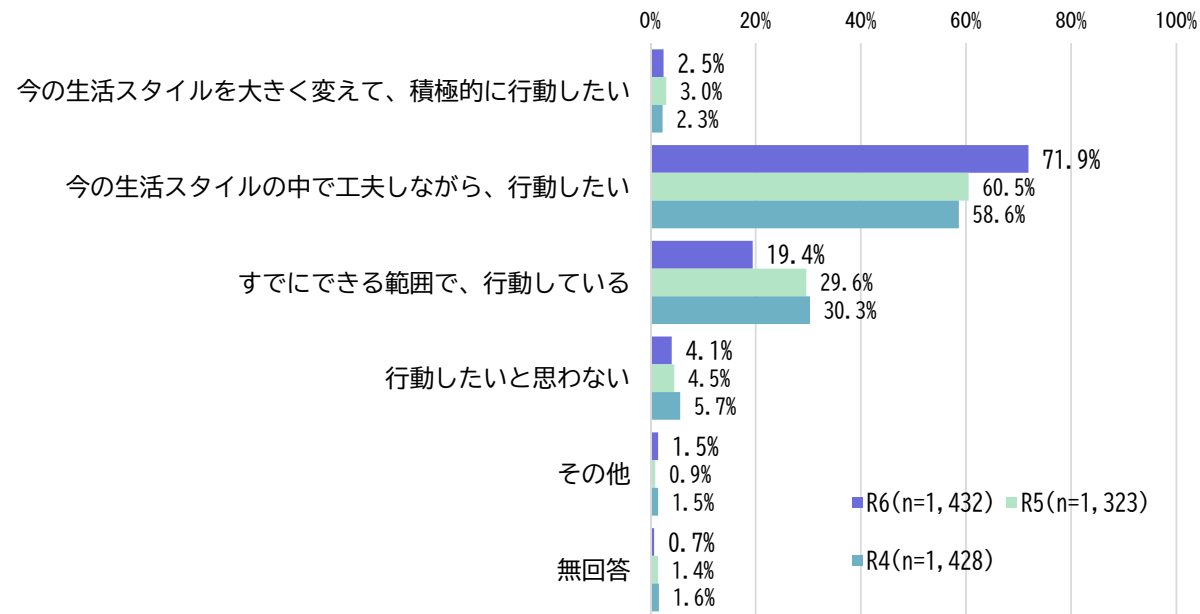
脱炭素化に向けて「積極的に・工夫しながら行動したい※」と考える人は74.4%と高い数値となっており、過去3か年で最も高くなっている。

※「今の生活スタイルを大きく変えて、積極的に行動したい」・「今の生活スタイルの中で工夫しながら、行動したい」人の割合の合計

Q 脱炭素化に向けてどのように行動したいと考えますか。(1つ選択)



令和4年度～令和6年度の経年グラフ

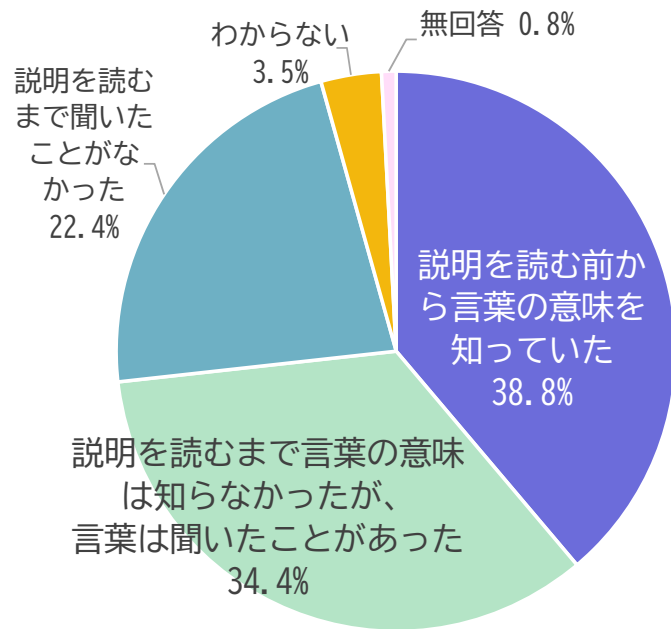


出典：2024年度 環境に関する市民意識調査結果
(調査時期：2024年7月)

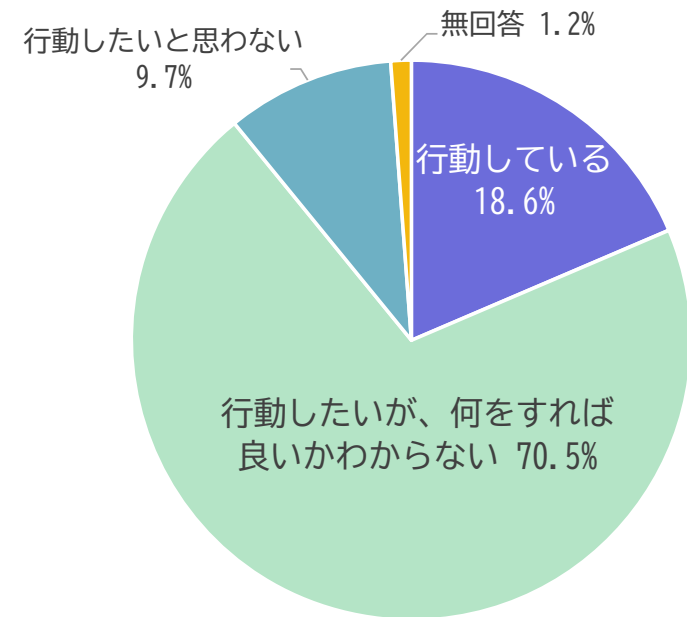
計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

- ・ 「生物多様性」という言葉の認知度※は73.2%と高い数値となっている。
- ・ 生物多様性を守るための行動を知らない人が約7割。

Q 「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか（1つ選択）



Q あなたは、生物多様性を守るために行動をしていますか（1つ選択）



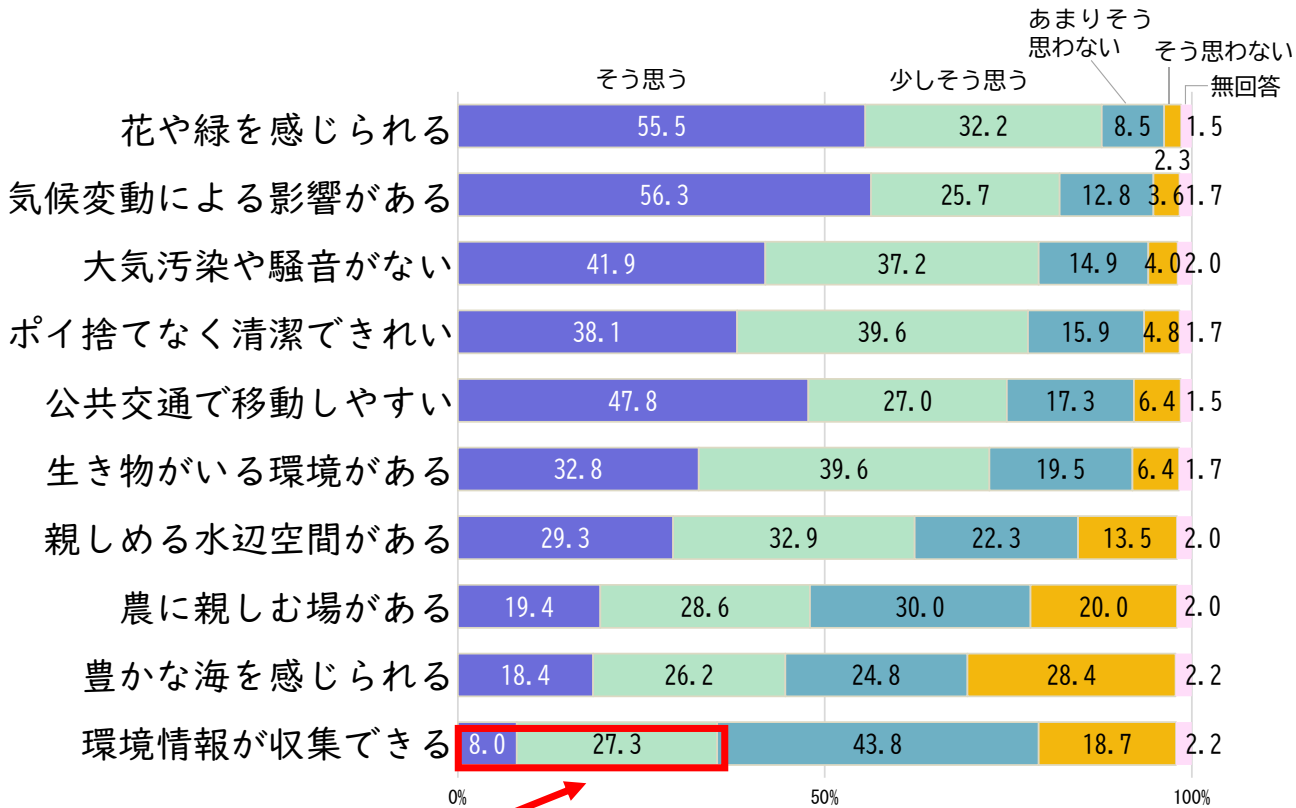
※ 「説明を読む前から知っていた」・「意味は知らなかったが、聞いたことがあった」人の割合の合計

出典：2024年度 環境に関する市民意識調査結果

計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

身のまわりの環境について

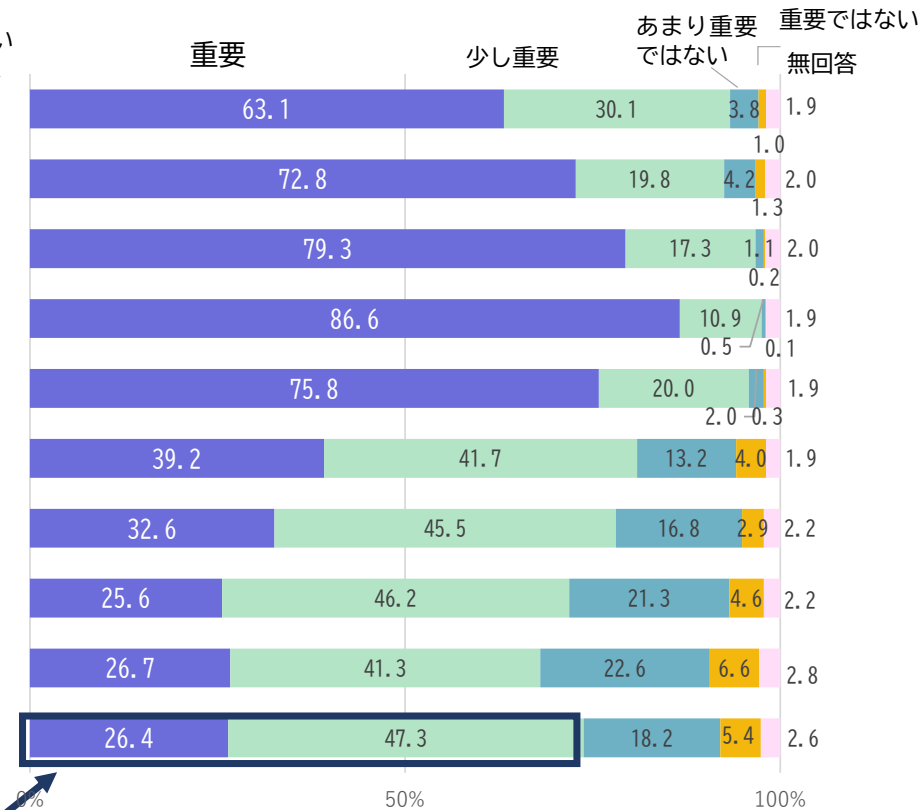
① 次の内容についてどう感じていますか？



肯定的所感

重要度

② どれくらい重要ですか？

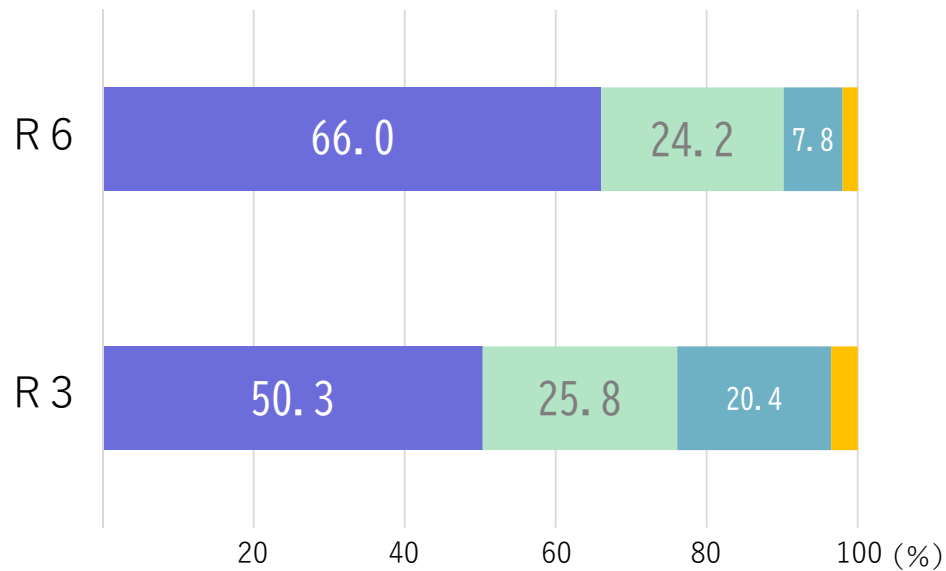


出典：2024年度 環境に関する市民意識調査結果

計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

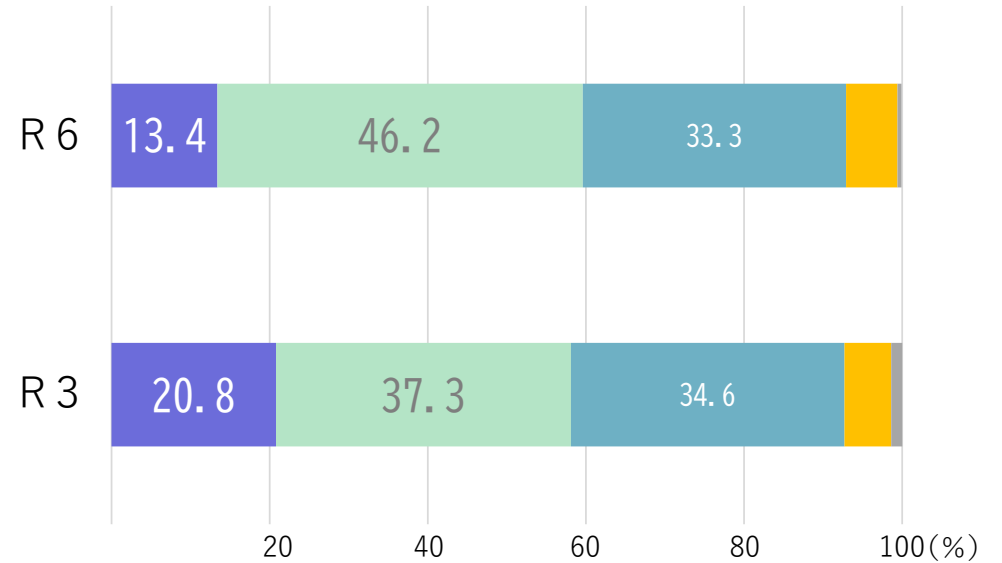
SDGsの取組について

Q 「SDGs」という言葉の意味を知っていましたか（1つ選択）



- 言葉の意味を知っていた
- 言葉の意味は知らなかったが、言葉は聞いたことがあった
- 聞いたことがなかった
- 無回答

Q 「SDGs」を知って、考えや行動に変化はありましたか（1つ選択）



- 以前から取り組んでおり、より積極的に取り組むようになった
- 以前から取り組んでいた
- 何をしたらよいかわからない
- その他
- 無回答

出典：2024年度 環境に関する市民意識調査結果

各政策・施策の推進状況

- 愛護会などの市民団体・学校・事業者による、良好な環境の保全活動を支援
- 地域で積極的に環境保全の取組を行う事業者・団体を表彰
- 市民の環境にやさしいライフスタイルの実践につなげるための広報や、SNSによる情報発信を推進
- 18区役所では、地域特性を踏まえた取組を展開



森づくり体験会



環境教育出前講座



横浜DeNAベイスターズと連携した
環境行動啓発ポスター

- 再生可能エネルギーの普及、電気自動車等の普及といった地球温暖化対策の推進
- 地域資源や景観を活かし横浜の魅力を発信、にぎわいを創出
- 新興国等の環境課題解決に向けた国際技術協力・海外インフラビジネス展開支援
- 市内産農畜産物の地産地消に取り組む事業者を支援



ガーデンネックレス横浜2023



セブ都市圏下水道整備マスタープラン策定支援事業実施のための署名式

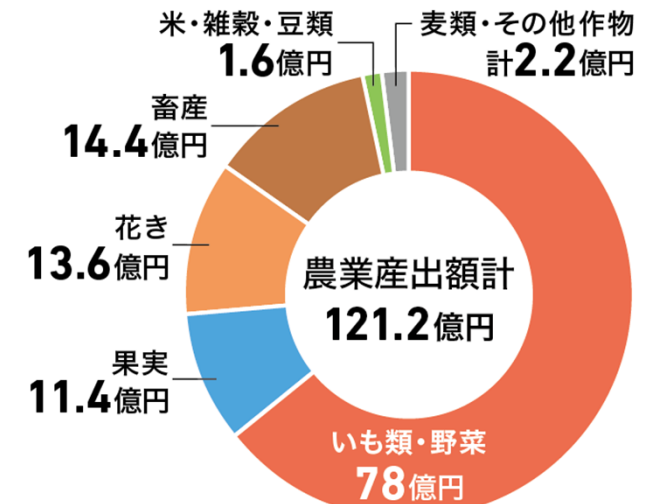


図 横浜市の農業産出額

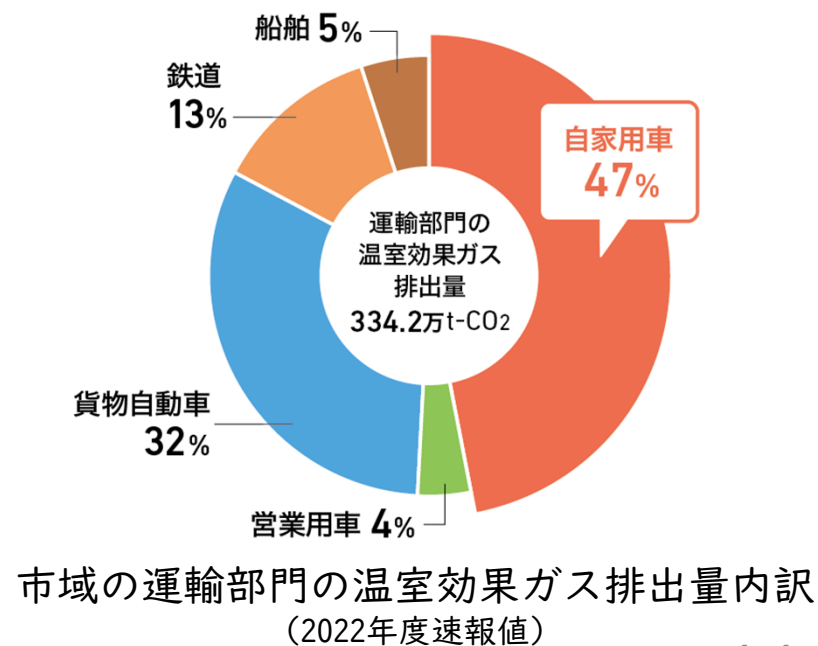
- 都心臨海部では公共交通の利便性向上等、エネルギー・交通面から環境負荷低減
- 郊外部での持続可能な魅力あるまちづくり、土地利用転換に対応した公園整備
- 鉄道・道路など交通ネットワークの整備、自転車利用環境の整備の推進
- 河川改修や雨水幹線整備、グリーンインフラの取組など災害に強い都市形成を推進



脱炭素先行地域事業で整備した
太陽光パネル
(横浜ワールドポーターズ)



公園での透水性舗装等の整備による
雨水の貯留・浸透機能の向上
(中区)



- 省エネの進展によるエネルギー消費量の減少及び再生可能エネルギー導入拡大に伴う温室効果ガス排出量の減少
- 全国で初めて、公道上にEVトラック対応可能な急速充電器を設置
- FCV導入補助を推進

環境目標の達成状況

数値は2022年度、()内は2021年度値

2030年度までの目標値

温室効果ガス排出量	1,641 (1,714) 万t-CO ₂	2013年度比 24%減	<u>2013年度比で50%減</u>
エネルギー消費量	206 (217) PJ	2013年度比 19%減	<u>2013年度比で34%減</u>

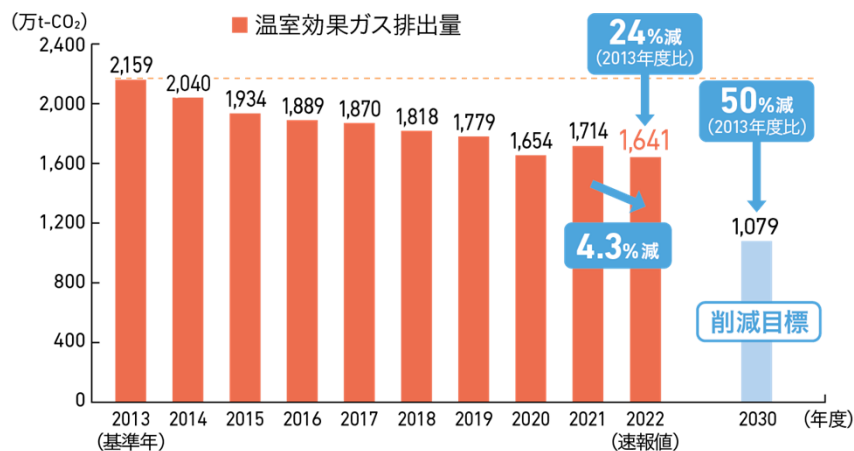


図 横浜市域の温室効果ガス排出量の状況と削減目標



横浜市風力発電所
ハマウイング



EVトラックへの充電の様子

- 多様な動植物などの生き物の生息・生育環境の保全を推進
- 市民が身近な自然や生き物に触れ合い、楽しみ、学ぶ機会を創出
- 生物多様性に配慮した行動をとる市民や企業等を増やすための表彰・情報発信

環境目標の達成状況

水田保全面積

動物園等における環境教育・学習の実施

()内は2022年度値

111.1 (111.9) ha

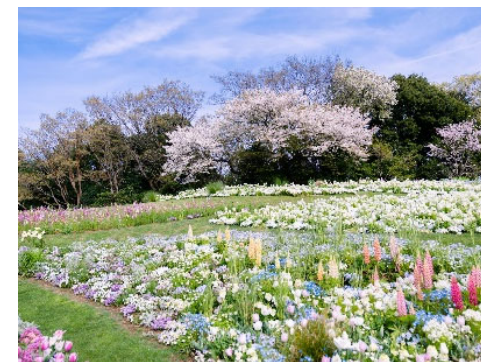
597 (568) 件



中堀川における川づくり活動
(旭区)



「ZOO to Wild Fes」
(金沢動物園)



里山ガーデン
・横浜の花で彩る大花壇
(旭区)

基本施策3 水とみどり

本編 p.48～

環境目標の達成状況

()内は2022年度値

緑被率 (2019年度調査値)

27.8 %

緑地保全制度による新規指定

32.1 (36.8) ha

宅地内雨水貯留タンク設置助成

105 (177) 件

道路・宅地への雨水浸透ます設置

19,947 (19,717) 個※

(下水道事業で設置したもの)

(2023年度末時点)

※事業開始からの合計値



新治市民の森 (緑区)

基本施策4 都市農業

本編 p.54～

環境目標の達成状況

()内は2022年度値

市民・企業等と連携した地産地消の推進

56 (57) 件

市内産農畜産物の購入機会の拡大

66 (63) 件

農業者団体※による維持管理面積

671.4 (674.0) ha

※まとまりのある農地を維持する農業者団体

様々な市民ニーズに合わせた農園面積

100.9 (98.5) ha

(2023年度末時点)



小売店と連携した市内農畜産物販売スペース (西区)

基本施策 5 資源循環

本編 p.60～

環境目標の達成状況

()内は2022年度値

ごみと資源の総量 112.0 (116.0) 万t → 2009年度比 12%減

産業廃棄物最終処分量※ 13.8 (27.5) 万t

※ 数値は2022年度、()内は2021年度値

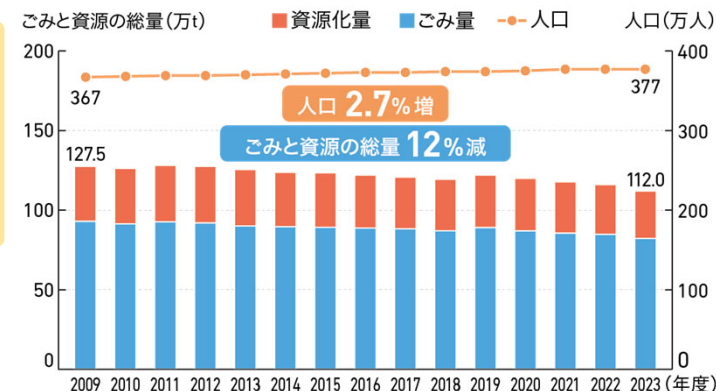


図 ごみと資源の総量及び人口の推移

基本施策 6 生活環境

本編 p.66～

環境目標の達成状況

○/○は達成地点数/調査地点数

大気 二酸化窒素 27/27※

光化学オキシダント 0/19

水質 (河川) BOD 19/21

生物指標 35/38 (2022-2023年度調査)

(海域) COD 7/7、全窒素 6/7、全りん 5/7

※環境基準の下限値 (1時間値の日平均値0.04ppm) で評価

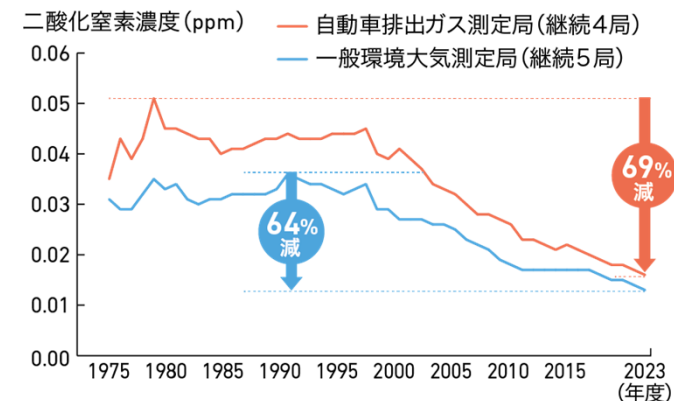


図 大気環境 (二酸化窒素濃度) の経年変化

- 「環境に関心があり、行動している」市民の割合は8割超
- 体験を重視した環境教育出前講座などの環境を学ぶ場の創出
- 学校教育において、持続可能な社会の創り手の育成（ESD）を推進

環境目標の達成状況

()内は2022年度値

環境に関心があり、行動している市民

82.5 (87.8) %

環境教育出前講座参加者数

7,542 (8,322) 人

ESDを教育課程に位置づけ教育活動を行っている学校数

全市立小中学校 485 (486) 校

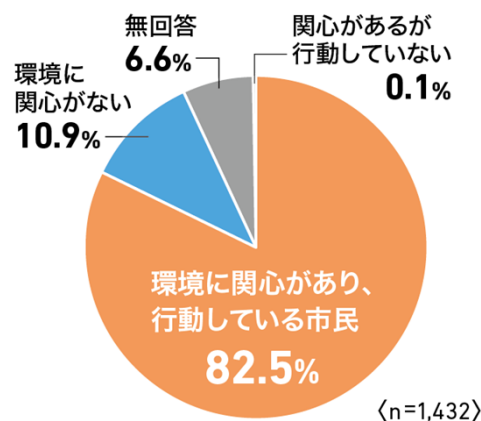


図 環境に関心があり、行動している市民の割合
(出典) 2024年環境に関する市民意識調査



市民参加の球根ミックス花壇づくりの様子



横浜市ESD推進コンソーシアム
交流報告会（児童・生徒の部）

- 1 社会の要請や課題に対して重要な役割を果たしてきた公園
- 2 ごみの処理を通じた環境・経済・社会的な課題解決に向けて

◇ 総合的な視点による基本政策

- 1 環境と人・地域社会
 - 企業×学生の環境課題解決マッチング会開催！
 - 小学生が『エコ活。』にチャレンジ！企業も応援！

- 2 環境と経済
 - 下水汚泥から肥料をつくる
 - ペットボトルの「ボトル to ボトル」に挑戦！

- 3 環境とまちづくり
 - カーボンニュートラルポートの実現に向けて

◇ 環境側面からの基本施策

1 地球温暖化対策

- 環境にやさしい空の旅へ

～廃食油をSAF(持続可能な航空燃料)に活用～

2 生物多様性 [生物多様性横浜行動計画]

- 国内外のユース等が生物多様性についてディスカッション！
- マリノスケと一緒に生物多様性を学んで行動しよう！

～生物多様性に係る普及啓発協定の取組～

3 水とみどり

- GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)

4 都市農業

- みなとみらい農家朝市 秋の恵み大収穫祭

～神奈川大学の学生たちと一緒に地産地消～

5 資源循環

- 「もったいない」を価値へと変える
- ごみ焼却工場の排ガス中のCO₂を都市ガスに

6 生活環境

- 水環境中のPFAS(有機フッ素化合物)の状況は？

7 環境教育・学習 [環境教育等行動計画]

- デジタルコンテンツで楽しく学んで、脱炭素化にチャレンジ！
- 楽しく環境を学ぶ「夏休みこども環境科学教室2023」